

**NSG**

**GROUP**

# NSG グループ

## 2022年3月期 第1四半期決算報告

(2021年4月1日～ 2021年6月30日)

日本板硝子株式会社  
執行役常務 CFO 楠瀬 玲子

2021年8月5日

# 目次

1. 2022年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2022年3月期 業績予想について
3. リバイバル計画24（RP24）に基づく構造改革施策の進捗
4. まとめ

# 連結損益計算書

COVID-19の影響を大きく受けた前年同期から大幅に改善し、Q1業績は当初想定を上回る。  
構造改革施策の効果も下支えし、営業利益、純利益とも黒字に転換

(億円)	4-6月期		
	2021年 3月期	2022年 3月期	増減
売上高	919	<b>1,477</b>	558
営業利益 (△損失)	△ 6	<b>72</b>	78
営業利益率	-	<b>4.9%</b>	
個別開示項目(COVID-19関連)	△ 115	<b>0</b>	115
COVID-19関連個別開示項目後 営業利益 (△損失)	△ 121	<b>72</b>	193
個別開示項目(その他)	0	△ 2	△ 2
個別開示項目後営業利益 (△損失)	△ 121	<b>70</b>	191
金融費用(純額)	△ 24	△ 30	△ 6
持分法による投資損益	△ 4	<b>15</b>	19
税引前利益 (△損失)	△ 149	<b>55</b>	204
当期利益 (△損失)	△ 165	<b>29</b>	194
純利益 (△損失) *	△ 164	<b>25</b>	189
EBITDA	61	<b>165</b>	104

4月、5月を中心に大幅に売上回復、特に自動車用ガラス事業で顕著。構造改革施策の効果もあり営業利益も改善

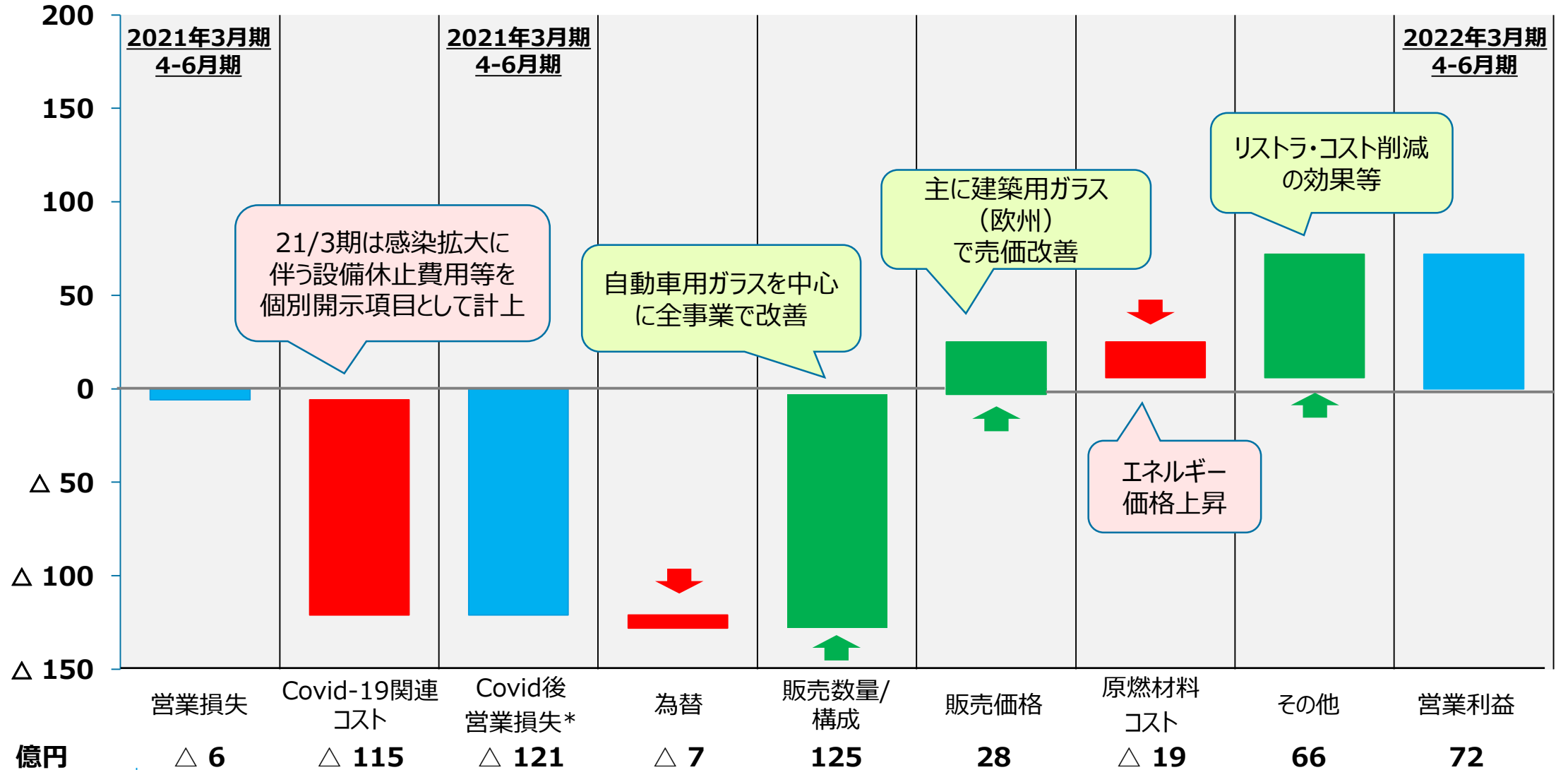
【グループ売上(月別)】		【4-6月期売上(事業別)】	
	前年比		前年比
4月	+115%	建築用	+45%
5月	+70%	自動車用	+80%
6月	+25%	高機能	+40%
累計	+60%	グループ計	+60%

営業利益の増加、COVID個別開示費用の減少、ブラジル持分法適用会社好調継続により大幅改善

黒字転換

# 営業利益差異分析 (無形資産償却後 4-6月期累計)

需要の回復に加え、コストダウン効果により大幅に改善



# 連結貸借対照表

純利益の計上等により自己資本比率が改善

(億円)	2021年 3月末	2021年 6月末	増減
<b>資産合計</b>	<b>8,250</b>	<b>8,313</b>	<b>63</b>
非流動資産	5,750	5,849	99
流動資産	2,500	2,464	△ 36
<b>負債合計</b>	<b>7,452</b>	<b>7,386</b>	<b>△ 66</b>
流動負債	2,878	2,757	△ 121
非流動負債	4,574	4,629	55
<b>資本合計</b>	<b>798</b>	<b>927</b>	<b>129</b>
親会社の所有者に帰属する持分	629	749	120
<b>自己資本比率 (%)</b>	<b>7.6%</b>	<b>9.0%</b>	<b>+1.4pt</b>
<b>ネット借入</b>	<b>4,117</b>	<b>4,222</b>	<b>105</b>

主に買掛債務が減少

純利益の計上、エネルギーヘッジの評価益および為替影響により改善

フリー・キャッシュ・フローのマイナスによる

# 連結キャッシュ・フロー計算書

利益改善、キャッシュ節減活動により前年同期から大きく回復。  
通期でフリー・キャッシュ・フローのプラスを目指す

(億円)	4-6月期		
	2021年 3月期	2022年 3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 306	△ 8	298
（うち、運転資本の増減）	△ 221	△ 120	101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 161	△ 88	73
（うち、有形固定資産の取得）	△ 132	△ 83	49
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 467</b>	<b>△ 96</b>	<b>371</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	399	△ 32	△ 431
現金及び現金同等物の増減	△ 68	△ 128	△ 60
現金及び現金同等物 期末残高	337	416	79

利益改善やキャッシュ管理の徹底により、前年同期から大幅に改善

前年同期は戦略投資あり

前年同期から大幅改善

# セグメント情報

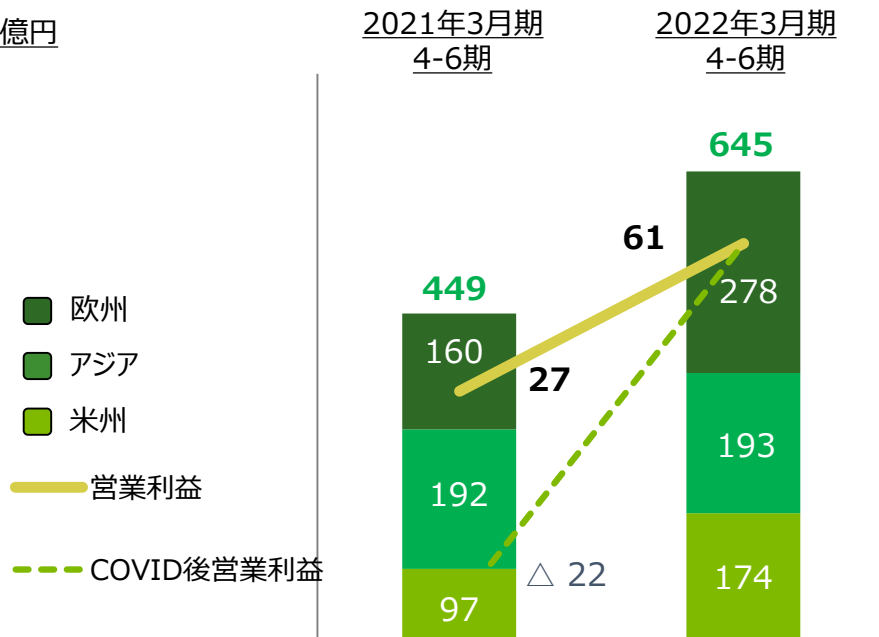
(億円)	2020年3月期 4-6月期			2021年3月期 4-6月期				2022年3月期 4-6月期			前年同期比	
	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	COVID後 営業利益*	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
<b>建築用ガラス事業</b>	<b>599</b>	<b>41%</b>	<b>57</b>	<b>449</b>	<b>49%</b>	<b>27</b>	△ 22	<b>645</b>	<b>44%</b>	<b>61</b>	<b>196</b>	<b>34</b>
欧州	232	16%		160	17%			278	19%		118	
アジア	224	15%		192	21%			193	13%		1	
米州	143	10%		97	11%			174	12%		77	
<b>自動車用ガラス事業</b>	<b>768</b>	<b>53%</b>	<b>40</b>	<b>387</b>	<b>42%</b>	△ 29	△ 93	<b>709</b>	<b>48%</b>	<b>13</b>	<b>322</b>	<b>42</b>
欧州	335	23%		166	18%			312	21%		146	
アジア	174	12%		99	11%			151	10%		52	
米州	259	18%		122	13%			246	17%		124	
<b>高機能ガラス事業</b>	<b>101</b>	<b>6%</b>	<b>18</b>	<b>81</b>	<b>9%</b>	<b>14</b>	<b>12</b>	<b>114</b>	<b>8%</b>	<b>28</b>	<b>33</b>	<b>14</b>
欧州	17	1%		13	2%			21	2%		8	
アジア	80	5%		65	7%			90	6%		25	
米州	4	0%		3	0%			3	0%		0	
<b>その他</b>	<b>3</b>	<b>0%</b>	△ 27	<b>2</b>	<b>0%</b>	△ 18	△ 18	<b>9</b>	<b>0%</b>	△ 30	<b>7</b>	△ 12
<b>合計</b>	<b>1,471</b>	<b>100%</b>	<b>88</b>	<b>919</b>	<b>100%</b>	△ 6	△ 121	<b>1,477</b>	<b>100%</b>	<b>72</b>	<b>558</b>	<b>78</b>



# 建築用ガラス事業 (増収・増益)

欧州・米州で大幅に売上回復。  
エネルギーコスト上昇の影響を受けるも営業利益は大きく改善し、2020/3期実績を上回る

億円



## 欧州 (増収・増益)

- 好調な需要により販売数量および価格が上昇
- 原燃材料・輸送コスト上昇の影響を、安定した操業とコスト削減努力で軽減

## アジア (横ばい・増益)

- 日本国内の建築需要は低調に推移するも、日本以外での業績は回復
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調

## 米州 (増収・増益)

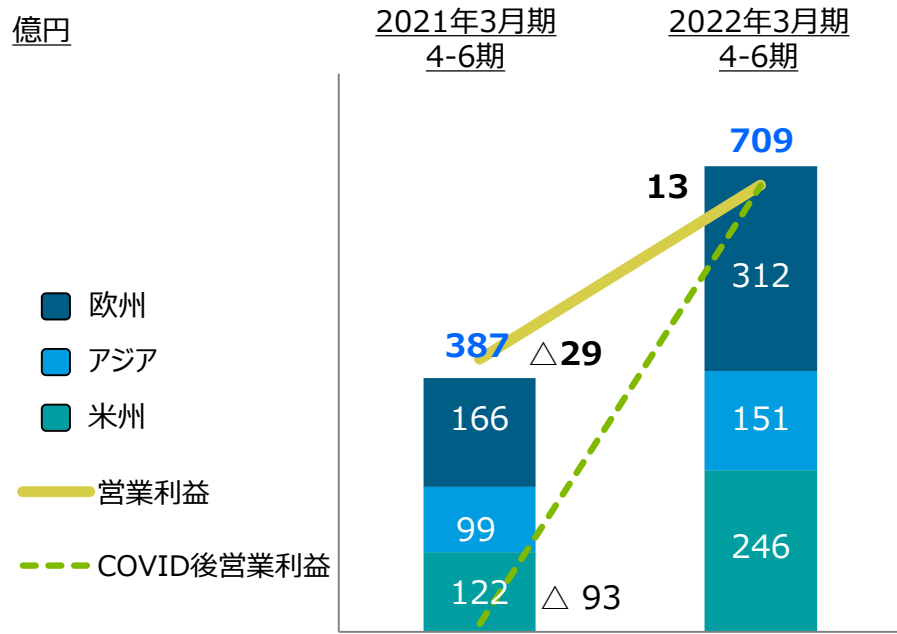
- 北米は、フロート窯の定期修繕と輸送コンテナ不足により若干、出荷に制約があるも、販売数量は増加
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調
- 南米は好調な需要により、販売数量が増加

	4-6月期			
	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	増減
売上高	599	449	645	196
欧州	232	160	278	118
アジア	224	192	193	1
米州	143	97	174	77
営業利益	57	27	61	34
COVID後営業利益*	57	△ 22	61	83

# 自動車用ガラス事業 (増収・増益)

部品不足による自動車生産制約の影響はあるも、COVID-19影響を大きく受けた前年同期から大幅に改善

億円



欧州 (増収・増益)

アジア (増収・増益)

米州 (増収・増益)

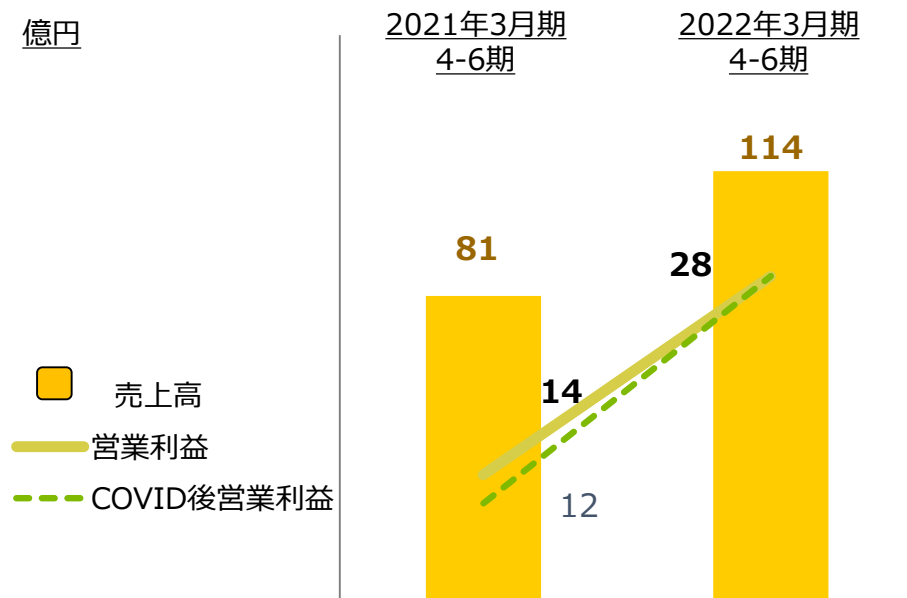
- 半導体等自動車部品不足による自動車生産の制約や、マレーシアにおけるロックダウンの影響を受けるも、売上は全地域で大幅に回復
- COVID-19の影響により前年4-5月に広範なロックダウンが実行された欧州・北米で特に回復が大きい
- 原燃材料コスト上昇の影響を受けるも、生産・販売数量の回復により営業利益は大幅に改善

	4-6月期			
	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	増減
売上高	768	387	709	322
欧州	335	166	312	146
アジア	174	99	151	52
米州	259	122	246	124
営業利益	40	△ 29	13	42
COVID後営業利益*	40	△ 93	13	106

# 高機能ガラス事業 (増収・増益)

COVID-19の影響があった前年同期から事業環境は好転し、2020/3期を上回る増収増益を達成

億円



## 高機能ガラス事業

- ファインガラスは、継続的なコスト削減による事業基盤の強化や売上構成の改善により業績は改善
- プリンター用レンズは、在宅勤務、オンライン授業向けにプリンター需要が増加
- グラスコードは中国を中心に需要が堅調。メタシャイン® は自動車向け・化粧品向け市場で需要回復の兆し
- バッテリーセパレーターの業績は安定的に推移  
(バッテリーセパレーター事業の譲渡は9月に完了の見込み)

	4-6月期			増減
	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	
売上高	101	81	114	33
営業利益	18	14	28	14
COVID後営業利益*	18	12	28	16

# 2022年3月期修正業績予想の前提

<b>グループ</b>	<p><b>当初想定を上回るQ1実績を踏まえ、上期・通期業績予想を上方修正</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー価格の上昇等により投入コスト増の影響を大きく受ける見通し。不透明な事業環境を踏まえ、下期業績予想は据え置き。今後の事業環境を注視</li> <li>個別開示項目にはバッテリーセパレーター事業の譲渡益（9月予定）を含む</li> <li>構造改革施策の効果もあり、全事業で増収増益の想定は変わらず *</li> </ul>
<b>建築用ガラス</b>	<p><b>安定した需要回復が継続するが、欧州を中心にエネルギー価格上昇の影響を受ける</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>欧州：需給改善を踏まえ価格改善を想定するが、天然ガス価格の急騰が懸念材料</li> <li>アジア：東南アジアでCOVID-19感染拡大の影響を想定</li> <li>北米：経済活動再開に伴う域内市場は引き続き回復基調</li> <li>南米：タイトな需給環境が継続</li> <li>太陽電池パネル用ガラス：数量増加を見込む</li> </ul>
<b>自動車用ガラス</b>	<p><b>自動車需要は概ね堅調だが、半導体等部品不足の影響を受ける想定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全地域で堅調な自動車需要と在庫逼迫により、自動車生産増を想定するが、半導体等部品不足解消のタイミングに不透明感あり。事業環境を注視</li> </ul>
<b>高機能ガラス</b>	<p><b>全体として改善基調*</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車関連製品は自動車生産動向に連動した回復を想定</li> <li>プリンター用レンズは当面在宅勤務需要増加の恩恵が続く</li> </ul>

# 2022年3月期通期業績予想

当初想定を上回るQ1実績を踏まえ、上期・通期業績予想を上方修正（下期は据え置き）

(億円)	2022年3月期 上期予想 (前回)	2022年3月期 上期予想 (今回)	2022年3月期 下期予想 (変更なし)	2022年3月期 通期予想 (前回)	2022年3月期 通期予想 (今回)	2021年3月期 通期実績
売上高	2,500	<b>2,800</b>	<b>2,800</b>	<b>5,300</b>	<b>5,600</b>	4,992
営業利益	100	<b>120</b>	<b>120</b>	<b>220</b>	<b>240</b>	131
COVID関連個別開示項目後 営業利益	100	<b>120</b>	<b>120</b>	<b>220</b>	<b>240</b>	△ 30
個別開示項目（その他） 個別開示項目後	50	<b>50</b>	<b>0</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	△ 53
営業利益	150	<b>170</b>	<b>120</b>	<b>270</b>	<b>290</b>	△ 83
金融費用（純額）	△ 70	△ <b>60</b>	△ <b>70</b>	△ <b>140</b>	△ <b>130</b>	△ 110
持分法による投資損益	10	<b>20</b>	<b>10</b>	<b>20</b>	<b>30</b>	21
税引前利益	90	<b>130</b>	<b>60</b>	<b>150</b>	<b>190</b>	△ 172
当期利益	80	<b>90</b>	<b>30</b>	<b>110</b>	<b>120</b>	△ 163
純利益*	70	<b>80</b>	<b>20</b>	<b>90</b>	<b>100</b>	△ 169

# リバイバル計画24（RP24）構造改革施策の進捗

## RP24に基づき構造改革主要施策を実行中

### 3つの改革

#### コスト構造改革

- 人員削減：22/3期に約500人強の削減に向け進捗（21/3期と合わせて2,000人強の削減。退職コストは21/3期に引当済）
- コスト削減：「改革・革新」活動を通じた製造改革、拠点の統廃合・働き方改革等による間接費低減の取り組みを実行中

#### 事業構造改革

- 米国 太陽電池パネル用ガラス製造窯の本格稼働
- アルゼンチンで新フロート窯の建設再開



アルゼンチンの新フロートライン（建設中）

#### 企業風土改革

- 「顧客重視」、「迅速な意思決定とアクション」、「困難な課題の克服」を目指し、「Shape to Shine」活動をグローバルに展開



### 2つの重点施策

#### 財務基盤の回復

- 22/3期 Q1で純損益が黒字転換。前年同期から約190億円の大規模改善
- 2021年6月末現預金残高447億円、未使用融資枠692億円

#### 高収益事業へのポートフォリオ転換

- バッテリーセパレーター事業譲渡：9月譲渡（予定）に向けて順調に進捗

RP24 説明資料: [https://www.nsg.co.jp/-/media/nsg-jp/ir/ir-presentations/mtprp24presentation2021\\_j01.pdf](https://www.nsg.co.jp/-/media/nsg-jp/ir/ir-presentations/mtprp24presentation2021_j01.pdf)

# まとめ

## 1. 2022年3月期 第1四半期決算

- COVID-19の影響を大きく受けた前年同期から、自動車用ガラスを中心に大きく売上回復
- 構造改革施策の効果もあり、営業利益・純利益とも黒字に転換。Q1業績は、想定を上回る
- 好調な事業業績等により自己資本は改善基調。  
あわせて徹底したキャッシュ管理により通期フリー・キャッシュ・フローの黒字化を目指す

## 2. 2022年3月期 上期・通期業績予想修正

- 当初想定を上回るQ1実績を踏まえ、上期・通期業績予想を上方修正
- エネルギー価格の上昇等により投入コスト増の影響を大きく受ける見通し
- 不透明な事業環境を踏まえ、下期業績予想は据え置き。今後の事業環境を注視
- 構造改革施策の効果もあり、全事業で増収増益の想定は変わらず

## 3. RP24に基づく構造改革施策の進捗

- コスト構造改革：コスト改善諸施策を策定し、最優先課題として取り組み
- 事業構造改革：太陽電池パネル用ガラス製造窯の本格稼働・アルゼンチンにおける新フロート建設再開
- 事業ポートフォリオ変革：バッテリーセパレーター事業譲渡は9月に完了の見込み



# ご注意

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境及び競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市場環境、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社



# 補足資料

- 連結損益計算書（四半期別）
- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- 四半期別セグメント情報
- 地域別業績
- 個別開示項目
- 為替レート・為替感応度
- 減価償却費・資本的支出・研究開発費

# 連結損益計算書

四半期別推移

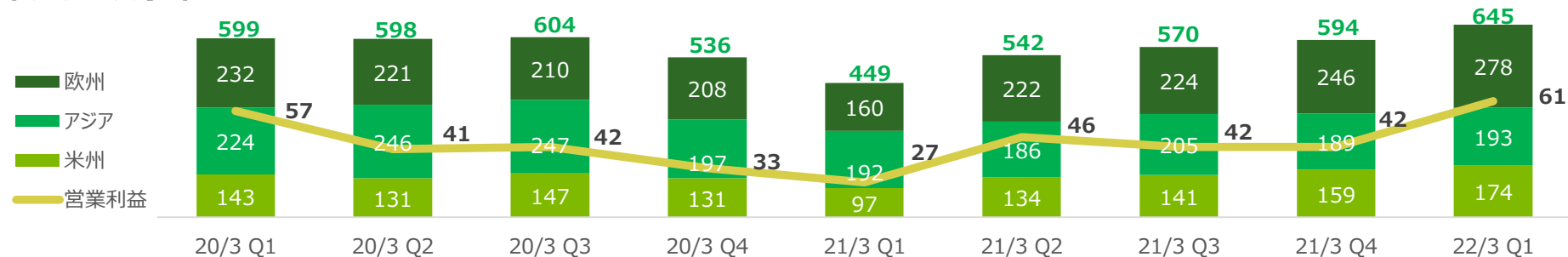
(億円)	2020年 3月期				2021年 3月期				2022年 3月期
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期
売上高	1,471	1,415	1,372	1,304	919	1,296	1,359	1,418	1,477
営業利益(△損失)	88	61	31	32	△ 6	38	48	51	72
営業利益率	6.0%	4.3%	2.3%	2.5%	—	2.9%	3.5%	3.6%	4.9%
個別開示項目(COVID-19関連)	—	—	—	△22	△ 115	△ 13	△ 12	△ 21	—
COVID-19関連個別開示項目後 営業利益 (△損失)	88	61	31	10	△ 121	25	36	30	72
個別開示項目(その他)	△6	△16	△22	△174	0	△ 8	10	△ 55	△ 2
個別開示項目後営業利益 (△損失)	82	45	9	△164	△ 121	17	46	△ 25	70
金融費用(純額)	△35	△28	△32	△23	△ 24	△ 30	△ 21	△ 35	△ 30
持分法による投資損益	5	3	4	△1	△ 4	2	10	13	15
税引前利益 (△損失)	52	20	△19	△188	△ 149	△ 11	35	△ 47	55
当期利益 (△損失)	31	△7	△5	△194	△ 165	△ 7	37	△ 28	29
純利益 (△損失) *	29	△10	△7	△201	△ 164	△ 9	34	△ 30	25
EBITDA	175	142	115	118	61	127	135	145	165

\*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

# 事業部門別・地域別売上高及び営業利益 四半期別推移

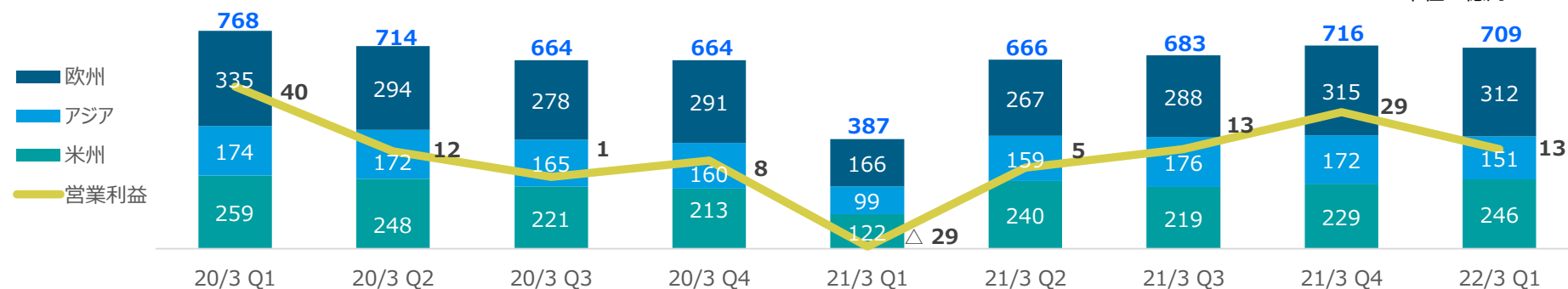
単位：億円

## 建築用ガラス事業



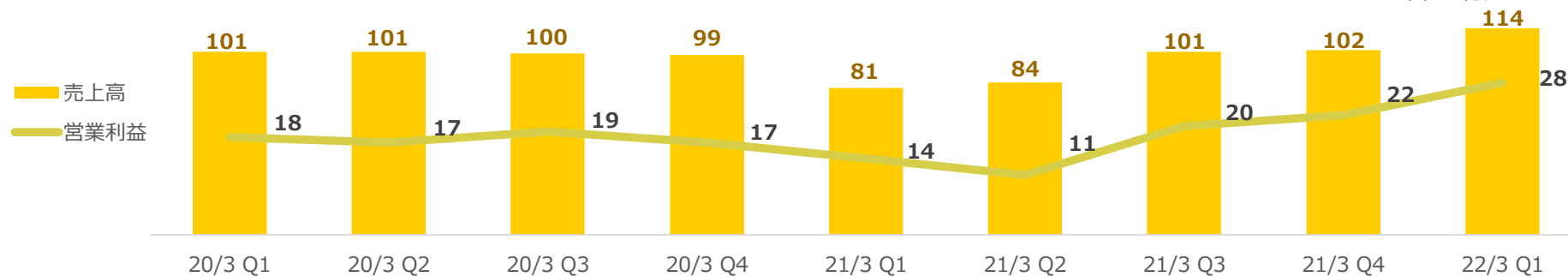
## 自動車用ガラス事業

単位：億円



## 高機能ガラス事業

単位：億円



# セグメント情報

(億円)	2020年 3月期					2021年 3月期					2022年 3月期
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期
売上高: 建築用ガラス	599	598	604	536	2,337	449	542	570	594	2,155	645
欧州	232	221	210	208	871	160	222	224	246	852	278
アジア	224	246	247	197	914	192	186	205	189	772	193
米州	143	131	147	131	552	97	134	141	159	531	174
営業利益	57	41	42	33	173	27	46	42	42	157	61
COVID後営業利益*	-	-	-	27	167	△ 22	41	38	34	91	-
売上高: 自動車用ガラス	768	714	664	664	2,810	387	666	683	716	2,452	709
欧州	335	294	278	291	1,198	166	267	288	315	1,036	312
アジア	174	172	165	160	671	99	159	176	172	606	151
米州	259	248	221	213	941	122	240	219	229	810	246
営業利益	40	12	1	8	61	△ 29	5	13	29	18	13
COVID後営業利益*	-	-	-	△ 6	47	△ 93	△ 6	4	17	△ 78	-
売上高: 高機能ガラス	101	101	100	99	401	81	84	101	102	368	114
欧州	17	18	16	20	71	13	14	19	18	64	21
アジア	80	79	81	77	317	65	68	79	81	293	90
米州	4	4	3	2	13	3	2	3	3	11	3
営業利益	18	17	19	17	71	14	11	20	22	67	28
COVID後営業利益*	-	-	-	16	70	12	10	21	22	65	-
売上高: その他	3	2	4	5	14	2	4	5	6	17	9
営業利益	△ 27	△ 9	△ 31	△ 26	△ 93	△ 18	△ 24	△ 27	△ 42	△ 111	△ 30
COVID後営業利益*	-	-	-	△ 27	△ 94	△ 18	△ 20	△ 27	△ 43	△ 108	-
売上高: 合計	1,471	1,415	1,372	1,304	5,562	919	1,296	1,359	1,418	4,992	1,477
営業利益	88	61	31	32	212	△ 6	38	48	51	131	72
COVID後営業利益*	-	-	-	10	190	△ 121	25	36	30	△ 30	-

# 地域別売上高及び営業利益

(億円)	2021年3月期 4-6期			2022年3月期 4-6期			増減	
	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	営業利益 (△損失)
欧州	339	37%	△ 5	611	41%	24	272	29
アジア	356	39%	15	434	29%	52	78	37
米州	222	24%	2	423	29%	26	201	24
その他 *	2	0%	△ 18	9	1%	△ 30	7	△ 12
合計	919	100%	△ 6	1,477	100%	72	558	78

\* 「その他」セグメントの売上高、営業利益は地域別に区分していない。

# 個別開示項目

(億円)	2021年3月期 4-6月期	2022年3月期 4-6月期
<b>新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連*</b>	△ 115	-
政府支援による収益	8	-
設備休止等に係る費用	△ 123	-
<b>リストラクチャリング費用</b>	△ 4	△ 1
<b>子会社及びジョイントベンチャーの売却による利益</b>	6	-
<b>その他</b>	△ 2	△ 1
<b>個別開示項目 純額</b>	△ 115	△ 2

\* 2021/3期は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のまん延により影響を受ける直接費と回収不能な事業運営コスト、及びそれに関連して政府により支給される補助金を個別開示項目として計上。これらにはCOVID-19により生産活動に従事できない従業員への給与支払や休止設備の維持費用、施設の安全な作業環境整備のために生じた清掃費用などの直接費用を含む。

# 為替レート

## 期中平均レート

	2020年 3月期				2021年 3月期				2022年 3月期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
英ポンド	141	137	138	138	133	135	136	139	153
ユーロ	124	121	121	121	118	121	123	124	132
米ドル	109	109	109	109	107	106	106	106	109
ブラジル・リアル	28.0	27.6	27.2	26.4	19.9	19.8	19.7	19.7	20.6
アルゼンチン・ペソ	4.70	超インフレ会計の適用により、期末レートのみ使用							

## 期末レート

	2020年 3月期				2021年 3月期				2022年 3月期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
英ポンド	137	133	144	133	132	135	141	152	153
ユーロ	123	118	122	119	121	124	127	130	132
米ドル	108	108	109	108	107	105	103	111	111
ブラジル・リアル	28.3	26.0	27.1	20.8	19.9	18.7	19.8	19.1	22.3
アルゼンチン・ペソ	2.53	1.88	1.82	1.68	1.53	1.38	1.22	1.20	1.16

## 為替感応度

他の前提に変動がない条件で、  
為替レートが他の通貨に対して  
1%円高になった場合の影響額

	2021年 3月期
資本	31.0億円の減少
当期損失	1.0億円の改善

# 減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2021年3月期 4-6月期	2022年3月期 4-6月期	2022年3月期 見通し
<b>減価償却費</b>	<b>86</b>	<b>93</b>	<b>350</b>
<b>資本的支出</b>	<b>84</b>	<b>42</b>	<b>290</b>
通常投資	22	38	
戦略投資、他	62	4	
<b>研究開発費</b>	<b>21</b>	<b>20</b>	<b>90</b>
建築用ガラス事業	5	6	
自動車用ガラス事業	5	6	
高機能ガラス事業	2	2	
その他	9	6	



**NSG**

**GROUP**